



Kumamoto City

News Release

令和8年（2026年）4月3日

「第78回 熊本市立総合ビジネス専門学校 入学式」 について

第78回熊本市立総合ビジネス専門学校入学式を、以下のとおり行います。

- 1 日時 令和8年（2026年）4月9日（木）
14時00分～15時00分
- 2 場所 熊本市男女共同参画センター はあもにい1F
- 3 式次第
 - (1) 開式 (14:00)
 - (2) 国歌斉唱
 - (3) 入学許可宣言 キャリア創造学科 76人
 - (4) 校長式辞 校長 田畑 文霧（たばた あやきり）
 - (5) 来賓祝辞 熊本市副市長 田中 俊実（たなか としみ）様
熊本市議会副議長 井本 正広（いのもと まさひろ）様
来賓紹介 教育市民委員会 委員長 山本 浩之（やまもと ひろゆき）様
教育市民委員会 副委員長 吉田 健一（よしだ けんいち）様
教育市民委員会 委員 落水 清弘（おちみず きよひろ）様
教育市民委員会 委員 上田 芳裕（うえだ よしひろ）様
教育市民委員会 委員 小佐井 賀瑞宜（こさい かずのり）様
教育市民委員会 委員 平江 透（ひらえ とおる）様
後援会長 古庄 忠信（ふるしょう ただのぶ）様
熊本市教育委員会 教育長 遠藤 洋路（えんどう ひろみち）
熊本市教育委員会 教育委員 村田 槇（むらた まき）
 - (6) 祝詞祝電案内
 - (7) 新入生代表挨拶 キャリア創造学科 金子 和佳奈（かねこ わかな）さん
 - (8) 校歌斉唱
 - (9) 閉式 (14:50) ※式後の行事 後援会入会式

【補足資料：本校について】

- (1) 昭和24年(1949年)に創立、卒業生総数は8,600名を超え、今年度はキャリア創造学科第2期卒業生を送り出す。
- (2) 本校の使命
起業家精神(チャレンジ精神、創造性、探究心等)をもって、地域の持続的な発展を支え、個人の幸せと社会全体の幸せの実現を目指す人材を育成する。
- (3) 目 的
実務に必要な実践的かつ専門的知識及び技能を修得させるため、専門課程の教育を行うことを目的とする。(学則第一条)
- (4) 教育理念
起業家教育を柱に、新たな時代に対応したビジネス教育を行う。
- (5) 学校教育目標
ビジネスに関する実践的で専門的な知識や技能を活用して、地域に根差し地域で活躍する人物を育成する。
- (6) 概 要
 - ① 全国に2校しかない公立の商業系専門学校
 - ② 「資格が5倍の専門学校」
入学時に1人平均3個の資格を持つが、卒業時には1人平均15個の資格を取得する。
 - ③ 令和5年度、学科改編。
総合ビジネス科(修業年限2年)からキャリア創造学科(修業年限2年)へ。
【キャリア創造学科4つのポイント】
ア 起業家教育を柱とする。
イ 科目横断型の学びを実現する。
ウ 学びの高度化を実現する。
エ 社会人や高校生も学べる。
 - ④ 令和4年度末パソコン室3室機器更新(計120台を整備、うちiMac40台)
 - ⑤ 令和5年度から科目等履修生・聴講生を募集(R5年度:夜間5講座)(R6・7年度:昼間8講座、夜間4講座)

【お問い合わせ先】

熊本市立総合ビジネス専門学校

電 話 : 096-352-1768

校 長 : 校長 田畑 文霧(たばた あやきり)

担 当 : 教頭 坂本 和歌子(さかもと わかこ)

第78回 入学式

令和8年4月9日(木)

式次第

- 一、開式
- 一、国歌斉唱
- 一、入学許可宣言
- 一、校長式辞
- 一、来賓祝辞
- 一、来賓紹介並びに祝詞祝電披露
- 一、新入生代表挨拶
- 一、校歌、校旗紹介
- 一、閉式

熊本市立総合ビジネス専門学校

第78回 入学式

日時:令和8年4月9日(木)午後2時開式

場所:熊本市 男女共同参画センター はあもにい



熊本市立総合ビジネス専門学校

〒860-0079

熊本市西区上熊本3丁目25番5号

TEL:096-352-1768

ご入学おめでとうございます

令和7年度 新入生及び学年担当

キャリア創造学科 76名
学年担当 古閑裕規・鬼塚亜里沙・河津眞貴・中川 倫・上園藍子

教育理念・教育方針

1 本校の使命

起業家精神（チャレンジ精神、創造性、探究心等）をもって、地域の持続的な発展を支え、個人の幸せと社会全体の幸せの実現を目指す人材を育成する。

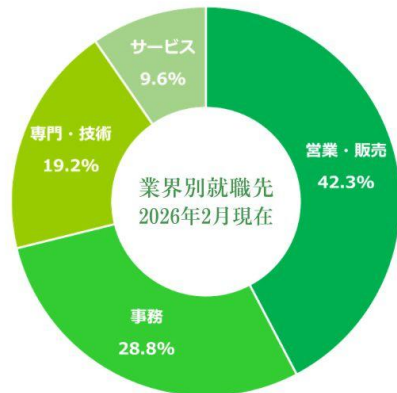
2 目的

実務に必要な実践的かつ専門的知識及び技能を修得させるため、専門課程の教育を行うことを目的とする。（学則第一条）

就職率(令和7年度3月卒業生)

98.1%

(就職希望者52人/内定51人：編入学1人含まず)



校歌
作詞 山口白陽
作曲 梅沢信一

一 雲白く流るゝところ
鮎おどる 古城のやぐら
朝毎に仰ぎてこゝに
集いよる 若人われら
商業の実務を磨く

二 明星のきらめくあたり
影黒き金峰山麓
宵毎に望みてこゝに
励み合う若人われら
商業の実務を鍛う

三 甦がえる日本の生命
花匂う平和の中に
育くまん希望を抱きて
競い立つ若人われら
商業の実務を窮む

校歌紹介

校歌は、校訓、校章とともに学校の創立目的や風土などを表します。

卒業後、若き日を懐かしみ、誇りをもって学校生活を思い出す時の調べともなります。

本校の校歌は、作詞が山口白陽先生、作曲が梅沢信一先生です。

歌詞の一番は、昼間部の学生が、毎朝、熊本城の鮎（シャチホコ）を仰ぎながら集い、ビジネス実務の勉強と社会人としての豊かな人間的成長に励み合う様子を謳っています。

二番は、夜間部の学生が、昼間の仕事を終えた夕暮から、ビジネス実務の向上に努め、社会人同士がふれ合い響き合い励み合う姿を謳っています。

二番二行目の「影黒き金峰山麓（い）は、西の空に日か沈み宵の明星（金星）が現れる頃、夕闇の中に黒い影となって浮かび上がってくる『肥後三山：金峰山、熊の岳、那智岳』（カルデラの外輪群）の美しい情景を表現しています。（※山麓は、山々が連なっている意味です。）

また「望みてここに」には、入学目的である専門知識・技能の習得やより高度な検定資格取得、希望の就職をめざす学生達が、励み合い助け合いながら、誠実・謙虚に努力する精神が強く謳い込まれています。

さて、校歌制定の頃の社会情勢は 昭和20(1945)年、日本はそれまでの十五年間にわたる戦争に敗れ、悲しみと貧窮の中で混乱していました。そのような中、本校は四年後の昭和24年(1949)年に創立しました。六年後の昭和26(1951)年、サンフランシスコ平和条約を締結、翌年昭和27(1952)年の4月28日に発効して独立国となり、国民は戦後復興を夢見ました。校歌は、ちょうどこの昭和27(1952)年4月の独立自尊の年に制定されたのです。このことが三番に「甦がえる日本の生命」と表現されています。やっと訪れた平和の中で、戦後復興の希望に燃え、経済界の第一線で役に立つビジネス実務の実力を身に付けて、社会で貢献することを願っています。

一番から三番の最後の一行は、「商業の実務を磨く、鍛う、窮む」とまとめ、現実社会に通用するための、本校ビジネス実務教育の「真の厳しさ」を表現しています。